

# 雪嶺集

〈宮坂靜生 鑑〉



## 愛しき日

小林貴子

糸魚川冬波かくも愛しき日  
糸魚川枯れゆくものに捨舟も  
能登も浮き軍艦も浮き冬夕焼  
冬草や波が筒なす時が好き  
鮫鱈のまだ来ぬ海や翡翠色  
翡翠海岸冬の日熟るる暇もなし  
冬麗や翡翠いちいち透かし見る  
穂俵の岸に寄り来ず年惜しむ  
鮠<sup>あら</sup>寿司やその夜を語り尽したる  
寒の夜の怒濤は腰に響くとよ

黒坂愛子さん曰く